

新聞紙 動物に变身！

熊本市で個展

東耕平さんの個展「ANIMALS」に並ぶ、新聞紙で作られた動物たち

17日、熊本市中央区



彫刻家・東さん(菊池市)

細かな表現 ユニーク

彫刻家・東耕平さん(40)

「菊池市」の個展「ANIMALS」が、熊本市中央

区新町のデザイン事務所で開催されている。新聞紙で作られた動物たちが、今にも動き出しそうな雰囲気だ

たずむ。

作品は全て新聞紙を丸めてセロハンテープでとめていきながら土台を作り、その上からちぎったものを貼り合わせて動物の形にしていく。模様は、新聞に掲載

された写真や広告などの色を利用し、黒や灰色などの微かな色の濃淡も表現されている。

展示されている動物は、パンダやブタ、ゾウ、クマなどさまざま。シンプルなフォルムながら、動物の種類ごとの柄や筋肉の違いまで見事に表現された作品が並ぶ。所々にニュースの見出しなどが見えるのもユニークだ。

東さんは崇城大(西区)

芸術学部を卒業後、幼稚園の美術講師として勤務。お金をかけずに子どもたちができる立体作品の制作方法を考え、折り紙や新聞で動物を作ることを思い付いた。約6年前から本格的に新聞紙での制作を始め「紙は重力の影響を受けにくく細かい部分も作れる。文字が書かれているのも、模様は偶然性を生み出し、作品の質を底上げしてくれる」と東さんは語る。

10日から始まった個展は当初、100体を並べたが、予想以上の売れ行きで作品

が少なくなったため、土日祝日のみの開催に変更。「時間をかけて悩んで買ってくれる人や、『かわいい』と大事そうにしてくれる人がいて、とてもうれしい」と笑顔で話す。

17日時点で約20点を展示。今後は23、24、25日に開く予定で、作品が売り切

れば終了となる。

(鬼束実里)